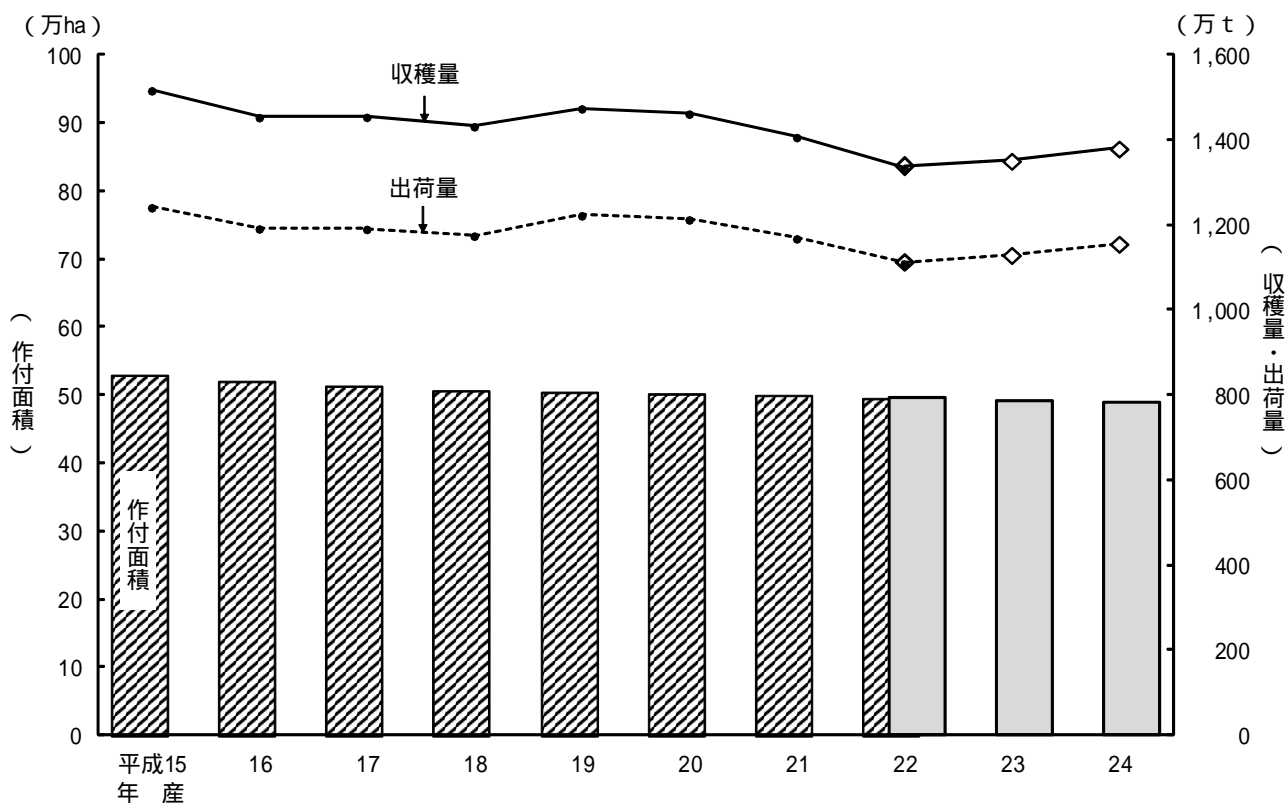


1 要 旨

平成24年産の野菜（40品目）の作付面積は48万8,400ha、収穫量は1,379万9,000 t、出荷量は1,156万1,000 tであった。

図1 野菜の作付面積、収穫量及び出荷量の推移







注：平成22年産からみずな（葉茎菜類）を調査品目に追加し40品目となったため、図中、平成22年産については、過去7年間と同様に39品目で再集計した作付面積を「」、収穫量及び出荷量を「」で表し、平成22年産以降の40品目の作付面積を「」、収穫量及び出荷量を「」で表した。

表1 平成24年産野菜の作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均 収量比
					作付面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
計	488,400	-	13,799,000	11,561,000	100	-	102	102	-
根 菜 類	173,100	-	5,287,000	4,323,000	100	-	102	102	-
だいこん	34,400	4,270	1,469,000	1,168,000	99	100	98	99	99
かぶ	4,830	2,820	136,100	110,600	98	99	98	98	98
にんじん	18,900	3,240	613,200	544,100	98	101	99	100	98
ごぼう	8,810	1,900	167,500	142,600	100	103	104	104	103
れんこん	4,000	1,560	62,500	52,100	100	108	107	108	104
ばれいしょ (じゃがいも)	81,200	3,080	2,500,000	2,061,000	100	104	105	105	101
さいも	13,400	1,290	172,500	109,300	99	102	101	102	104
やまのいも	7,480	2,220	166,100	135,300	100	100	100	100	98
葉 茎 菜 類	183,800	-	5,329,000	4,570,000	100	-	103	103	-
はくさい	18,000	5,120	920,700	723,400	99	103	103	102	104
こまつな	6,390	1,570	100,500	86,300	103	95	98	98	96
キャベツ	34,100	4,230	1,443,000	1,265,000	101	104	105	105	102
ちんげんさい	2,450	1,980	48,400	42,300	99	102	100	100	96
ほうれんそう	21,700	1,210	263,500	217,800	100	100	100	100	93
ふき	668	1,980	13,200	10,900	95	98	92	93	93
みつば	1,080	1,490	16,100	14,900	99	101	101	100	101
しゅんぎく	2,070	1,540	31,900	25,500	96	98	95	94	96
みずな	2,530	1,670	42,200	37,000	103	97	99	99	nc
セルリー	610	5,390	32,900	31,200	99	104	102	102	104
アスパラガス	6,030	474	28,600	24,900	96	103	99	99	102
カリフラワー	1,270	1,720	21,800	17,600	96	102	98	99	97
ブロッコリー	13,600	1,010	137,500	122,500	101	104	106	106	98
レタ	20,900	2,710	566,100	529,100	100	104	104	104	104
ねぎ	23,000	2,090	480,900	382,800	100	100	99	100	97
にら	2,260	2,800	63,200	56,900	101	97	98	98	97
たまねぎ	24,900	4,410	1,098,000	968,700	101	101	103	103	92
にんにく	2,300	874	20,100	13,300	103	95	98	99	93
果 菜 類	104,800	-	2,419,000	2,000,000	99	-	103	103	-
きゅうり	11,600	5,060	586,600	495,100	99	101	100	100	101
かぼち	17,800	1,280	227,100	177,900	99	109	109	109	100
なす	9,860	3,320	327,400	246,700	99	103	102	101	99
トマト	12,000	6,020	722,400	644,500	100	103	103	103	103
ピーマン	3,420	4,240	145,000	125,400	101	102	102	102	101
スイートコーン	25,000	1,020	255,300	205,200	100	106	106	107	107
さやいんげん	6,240	673	42,000	27,300	97	102	99	98	98
さやえんどう	4,000	645	25,800	16,500	99	96	95	93	100
そらまめ	2,150	795	17,100	11,700	96	95	92	90	94
えだまめ	12,700	551	70,000	50,000	99	107	106	105	100
香 辛 野 菜									
しょうが	1,920	2,840	54,600	42,700	98	102	101	102	114
果 実 的 野 菜	24,900	-	709,800	624,800	97	-	99	99	-
いちご	5,720	2,850	163,200	149,000	95	97	92	92	98
メロン	7,860	2,240	176,300	159,600	96	101	98	98	100
すいか	11,300	3,280	370,300	316,200	99	103	102	102	101

2 指定野菜の品目別の概要

(1) だいこん

ア 作付面積

作付面積は3万4,400haで、前年産に比べて500ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,270kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は146万9,000tで、前年産に比べて2万4,000t(2%)減少した。

エ 出荷量

出荷量は116万8,000tで、前年産に比べて1万2,000t(1%)減少した。

オ 季節区別の概況

(ア) 春だいこん

作付面積は4,710haで、前年産に比べて180ha(4%)減少した。これは、青森県において降雪量が多く残雪によりは種ができなかったこと等による。

10a当たり収量は4,690kgで、前年産に比べて160kg(3%)下回った。

収穫量は22万1,100t、出荷量は19万5,200tで、前年産に比べてそれぞれ1万6,100t(7%)、1万4,700t(7%)減少した。

(イ) 夏だいこん

作付面積は6,890haで、前年産に比べて50ha(1%)増加した。

10a当たり収量は3,750kgで、前年産に比べて110kg(3%)上回った。

収穫量は25万8,300t、出荷量は23万4,000tで、前年産に比べてそれぞれ9,100t(4%)、9,400t(4%)増加した。

(ウ) 秋冬だいこん

作付面積は2万2,800haで、前年産に比べて400ha(2%)減少した。

10a当たり収量は4,340kgで、前年産並みとなった。

収穫量は98万9,600t、出荷量は73万9,200tで、前年産に比べてそれぞれ1万6,400t(2%)、6,600t(1%)減少した。

図2 だいこんの作付面積及び収穫量の推移

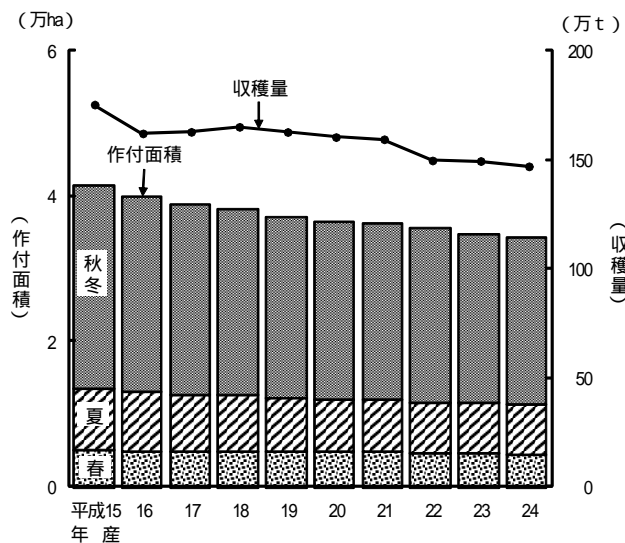


表2 平成24年産だいこんの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	量	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
						作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%	
だいこん	34,400	4,270	1,469,000	1,168,000	99	100	98	99	99	
春	4,710	4,690	221,100	195,200	96	97	93	93	97	
夏	6,890	3,750	258,300	234,000	101	103	104	104	104	
秋冬	22,800	4,340	989,600	739,200	98	100	98	99	98	

(2) にんじん

ア 作付面積

作付面積は1万8,900haで、前年産に比べて300ha(2%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,240kgで、前年産に比べて20kg(1%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は61万3,200tで、前年産に比べて4,100t(1%)減少した。

エ 出荷量

出荷量は54万4,100tで、前年産並みとなった。

オ 季節区別の概況

(ア) 春夏にんじん

作付面積は4,470haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は3,560kgで、前年産に比べて150kg(4%)下回った。

収穫量は15万9,200t、出荷量は14万4,100tで、前年産に比べてそれぞれ7,200t(4%)、6,200t(4%)減少した。

(イ) 秋にんじん

作付面積は6,340haで、前年産に比べて110ha(2%)減少した。

10a当たり収量は3,150kgで、前年産に比べて260kg(9%)上回った。これは、生産の大宗を占める北海道において前年産のような被害(裂根等)がなかったことに加え、根部の肥大期に天候に恵まれたこと等による。

収穫量は19万9,800t、出荷量は18万1,600tで、前年産に比べてそれぞれ1万3,200t(7%)、1万3,000t(8%)増加した。

(ウ) 冬にんじん

作付面積は8,140haで、前年産に比べて100ha(1%)減少した。

10a当たり収量は3,120kgで、前年産に比べて90kg(3%)下回った。

収穫量は25万4,100t、出荷量は21万8,400tで、前年産に比べてそれぞれ1万300t(4%)、9,200t(4%)減少した。

図3 にんじんの作付面積及び収穫量の推移

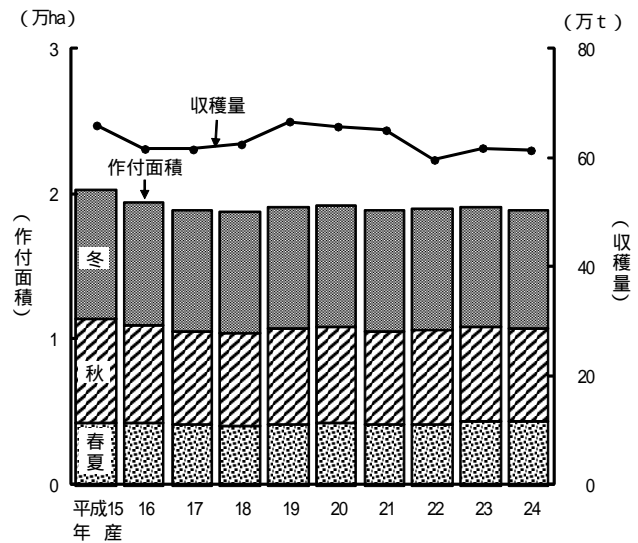


表3 平成24年産にんじんの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	量	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
						作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
にんじん	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%	
春夏	4,470	3,560	159,200	144,100	100	96	96	96	97	
秋	6,340	3,150	199,800	181,600	98	109	107	108	102	
冬	8,140	3,120	254,100	218,400	99	97	96	96	94	

(3) ばれいしょ(じゃがいも)

ア 作付面積

作付面積は8万1,200haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,080kgで、前年産に比べて130kg(4%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は250万tで、前年産に比べて11万3,000t(5%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は206万1,000tで、前年産に比べて10万t(5%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春植えばれいしょ

作付面積は7万8,300haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は3,130kgで、前年産に比べて130kg(4%)上回った。これは、生産の大宗を占める北海道において、6月から7月にかけて比較的天候に恵まれ、着いも数がやや多くなったこと等による。

収穫量は244万7,000t、出荷量は202万1,000tで、前年産に比べてそれぞれ10万8,000t(5%)、9万6,000t(5%)増加した。

(イ) 秋植えばれいしょ

作付面積は2,950haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は1,800kgで、前年産に比べて160kg(10%)上回った。これは、主産地である長崎県及び鹿児島県において、生育期間を通じて天候に恵まれ、肥大が良好であったこと等による。

収穫量は5万3,200t、出荷量は4万700tで、前年産に比べてそれぞれ4,700t(10%)、4,900t(14%)増加した。

図4 ばれいしょの作付面積及び収穫量の推移

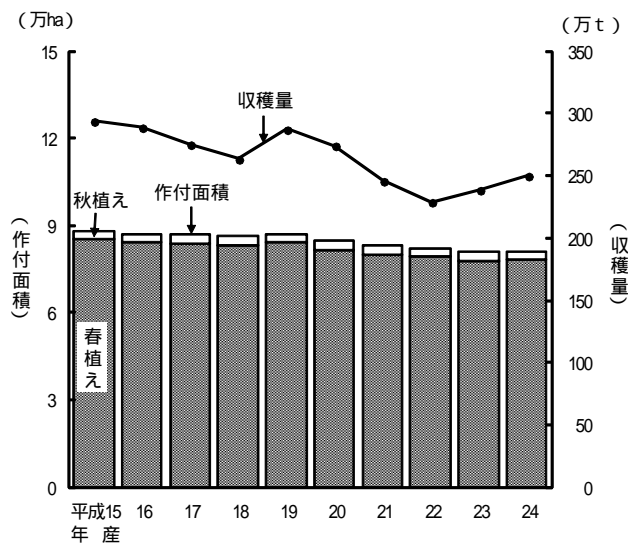


表4 平成24年産ばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考)対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ばれいしょ	81,200	3,080	2,500,000	2,061,000	100	104	105	105	101
春植え	78,300	3,130	2,447,000	2,021,000	100	104	105	105	100
秋植え	2,950	1,800	53,200	40,700	100	110	110	114	113

(4) さといも

ア 作付面積

作付面積は1万3,400haで、前年産に比べて200ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,290kgで、前年産に比べて30kg(2%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は17万2,500tで、前年産に比べて1,200t(1%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は10万9,300tで、前年産に比べて2,300t(2%)増加した。

オ 季節区分別の概況

秋冬さといも

作付面積は1万3,400haで、前年産に比べて200ha(1%)減少した。

10a当たり収量は1,290kgで、前年産に比べて30kg(2%)上回った。

収穫量は17万2,300t、出荷量は10万9,100tで、前年産に比べてそれぞれ1,400t(1%)、2,400t(2%)増加した。

図5 さといもの作付面積及び収穫量の推移

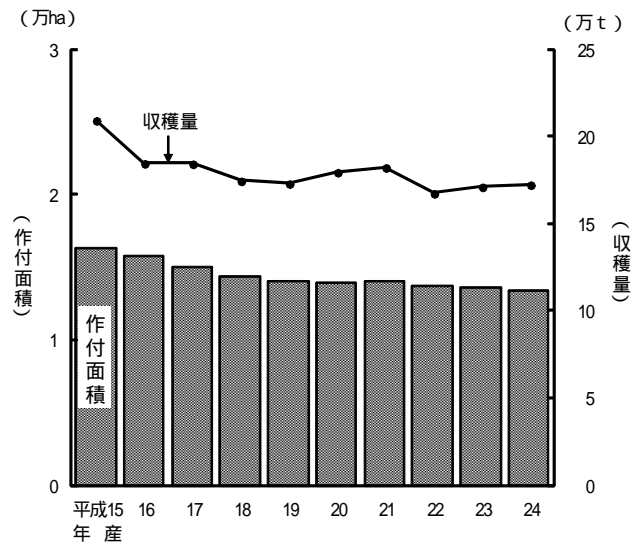


表5 平成24年産さといもの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考)対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
さといも	13,400	1,290	172,500	109,300	99	102	101	102	104
うち秋冬	13,400	1,290	172,300	109,100	99	102	101	102	104

(5) はくさい

ア 作付面積

作付面積は1万8,000haで、前年産に比べて100ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,120kgで、前年産に比べて160kg(3%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は92万700tで、前年産に比べて2万3,300t(3%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は72万3,400tで、前年産に比べて1万5,800t(2%)増加した。

オ 季節区別の概況

(ア) 春はくさい

作付面積は1,880haで、前年産に比べて10ha(1%)増加した。

10a当たり収量は6,010kgで、前年産に比べて40kg(1%)下回った。

収穫量は11万3,000tで、前年産並み、出荷量は10万2,600tで、前年産に比べて700t(1%)増加した。

(イ) 夏はくさい

作付面積は2,650haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は7,250kgで、前年産に比べて870kg(14%)上回った。これは、生産の大宗を占める長野県において生育期間を通じて天候に恵まれ、結球及び肥大が良好であったこと等による。

収穫量は19万2,200t、出荷量は15万9,400tで、前年産に比べてそれぞれ2万2,500t(13%)、1万1,200t(8%)増加した(収穫量と出荷量の差が大きいの、需給調整事業等に係る産地廃棄によるもの)。

(ウ) 秋冬はくさい

作付面積は1万3,400haで、前年産に比べて200ha(1%)減少した。

10a当たり収量は4,590kgで、前年産に比べて70kg(2%)上回った。

収穫量は61万5,600tで、前年産並み、出荷量は46万1,400tで、前年産に比べて3,900t(1%)増加した。

図6 はくさいの作付面積及び収穫量の推移

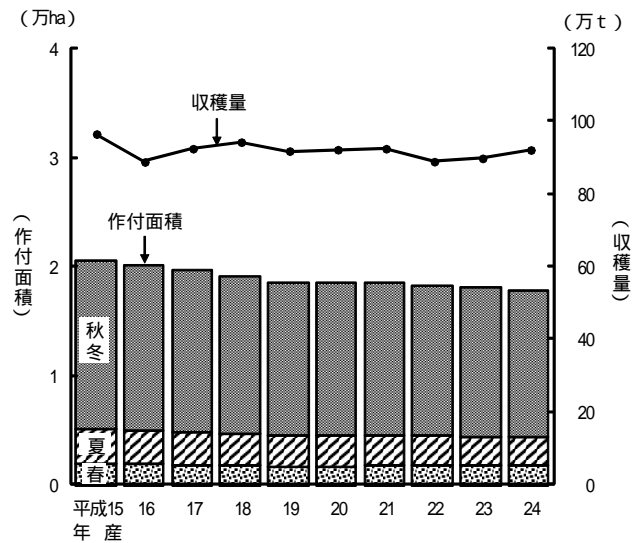


表6 平成24年産はくさいの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	10a当たり量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考) 対平均収量比
						作付面積	10a当たり収	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%	
はくさい	18,000	5,120	920,700	723,400	99	103	103	102	104	
春	1,880	6,010	113,000	102,600	101	99	100	101	102	
夏	2,650	7,250	192,200	159,400	100	114	113	108	117	
秋 冬	13,400	4,590	615,600	461,400	99	102	100	101	102	

(6) キャベツ

ア 作付面積

作付面積は3万4,100haで、前年産に比べて400ha(1%)増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,230kgで、前年産に比べて150kg(4%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は144万3,000tで、前年産に比べて6万8,000t(5%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は126万5,000tで、前年産に比べて5万6,000t(5%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春キャベツ

作付面積は9,020haで、前年産に比べて90ha(1%)増加した。

10a当たり収量は4,130kgで、前年産に比べて40kg(1%)上回った。

収穫量は37万2,700t、出荷量は33万tで、前年産に比べてそれぞれ7,400t(2%)、8,600t(3%)増加した。

(イ) 夏秋キャベツ

作付面積は1万100haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は4,690kgで、前年産に比べて250kg(6%)上回った。これは、7月以降の天候に恵まれたことから、結球及び肥大が良好であったこと等による。

収穫量は47万3,400t、出荷量は40万9,100tで、前年産に比べてそれぞれ2万5,100t(6%)、1万3,600t(3%)増加した(収穫量と出荷量の差が大きいのは、需給調整事業等に係る産地廃棄によるもの)。

(ウ) 冬キャベツ

作付面積は1万5,000haで、前年産に比べて300ha(2%)増加した。

10a当たり収量は3,980kgで、冬場の低温、少雨による影響等により生育が抑制された前年産に比べて160kg(4%)上回った。

収穫量は59万6,500t、出荷量は52万5,700tで、前年産に比べてそれぞれ3万5,400t(6%)、3万3,400t(7%)増加した。

図7 キャベツの作付面積及び収穫量の推移

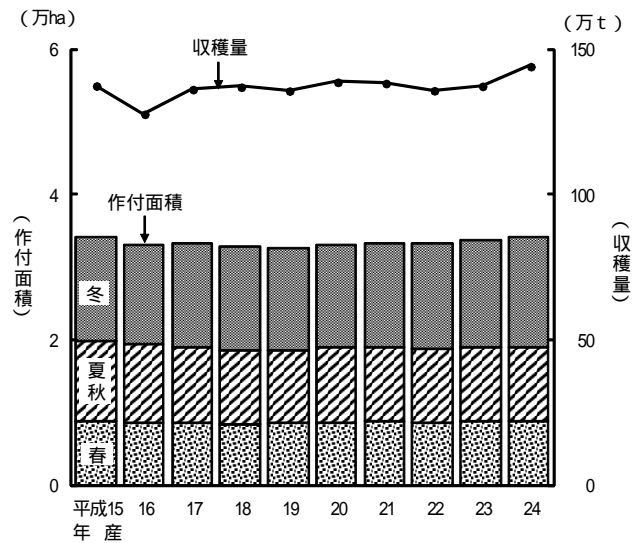


表7 平成24年産キャベツの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
キャベツ	34,100	4,230	1,443,000	1,265,000	101	104	105	105	102
春	9,020	4,130	372,700	330,000	101	101	102	103	101
夏秋	10,100	4,690	473,400	409,100	100	106	106	103	107
冬	15,000	3,980	596,500	525,700	102	104	106	107	100

(7) ほうれんそう

ア 作付面積

作付面積は2万1,700haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,210kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は26万3,500tで、前年産並みとなった。

エ 出荷量

出荷量は21万7,800tで、前年産並みとなった。

図8 ほうれんそうの作付面積及び収穫量の推移

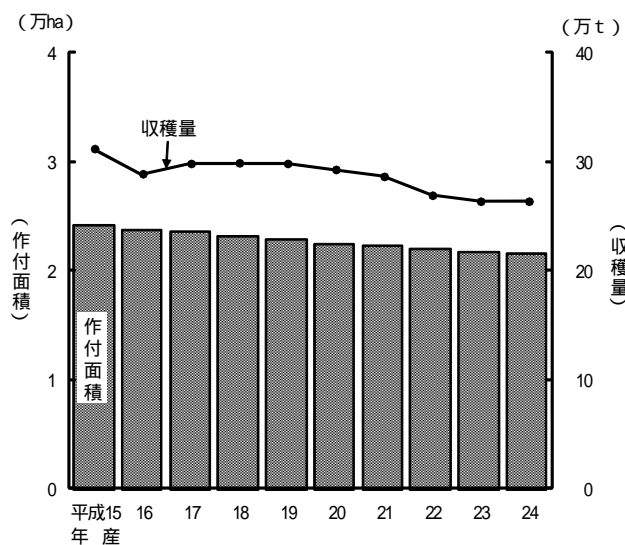


表8 平成24年産ほうれんそうの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ほうれんそう	21,700	1,210	263,500	217,800	100	100	100	100	93

(8) レタス

ア 作付面積

作付面積は2万900haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,710kgで、前年産に比べて100kg(4%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は56万6,100tで、前年産に比べて2万3,700t(4%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は52万9,100tで、前年産に比べて2万500t(4%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 春レタス

作付面積は4,280haで、前年産に比べて40ha(1%)増加した。

10a当たり収量は2,610kgで、前年産に比べて40kg(2%)下回った。

収穫量は11万1,600tで、前年産に比べて600t(1%)減少、出荷量は10万3,800tで、前年産並みとなった。

(イ) 夏秋レタス

作付面積は8,840haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は3,150kgで、前年産に比べて260kg(9%)上回った。これは、主産地である長野県において定植期以降の天候に恵まれ、結球及び肥大が良好であったこと等による。

収穫量は27万8,800t、出荷量は26万3,700tで、前年産に比べてそれぞれ2万4,300t(10%)、2万1,700t(9%)増加した。

(ウ) 冬レタス

作付面積は7,760haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は2,260kgで、前年産並みとなった。

収穫量は17万5,700tで、前年産並み、出荷量は16万1,600tで、前年産に比べて1,000t(1%)減少した。

図9 レタスの作付面積及び収穫量の推移

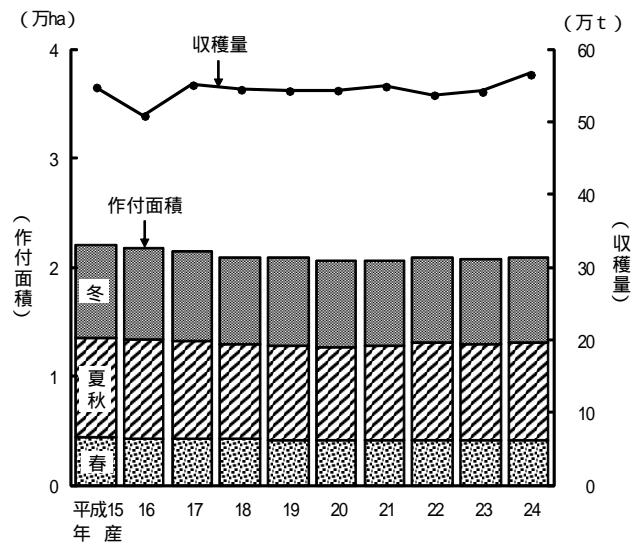


表9 平成24年産レタスの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
レタス	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	4,280	2,610	111,600	103,800	101	98	99	100	97
夏秋	8,840	3,150	278,800	263,700	100	109	110	109	112
冬	7,760	2,260	175,700	161,600	100	100	100	99	97

(9) ねぎ

ア 作付面積

作付面積は2万3,000haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,090kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量

収穫量は48万900tで、前年産に比べて4,200t(1%)減少した。

エ 出荷量

出荷量は38万2,800tで、前年産並みとなった。

オ 季節区別の概況

(ア) 春ねぎ

作付面積は3,420haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は2,460kgで、前年産に比べて30kg(1%)下回った。

収穫量は8万4,200tで、前年産に比べて1,000t(1%)減少、出荷量は7万3,700tで、前年産並みとなった。

(イ) 夏ねぎ

作付面積は5,080haで、前年産に比べて30ha(1%)減少した。

10a当たり収量は1,820kgで、前年産に比べて30kg(2%)上回った。

収穫量は9万2,600t、出荷量は8万tで、前年産に比べてそれぞれ1,000t(1%)、1,100t(1%)増加した。

(ウ) 秋冬ねぎ

作付面積は1万4,500haで、前年産に比べて100ha(1%)減少した。

10a当たり収量は2,100kgで、前年産並みとなった。

収穫量は30万4,000t、出荷量は22万9,100tで、前年産に比べてそれぞれ4,300t(1%)、1,900t(1%)減少した。

図10 ねぎの作付面積及び収穫量の推移

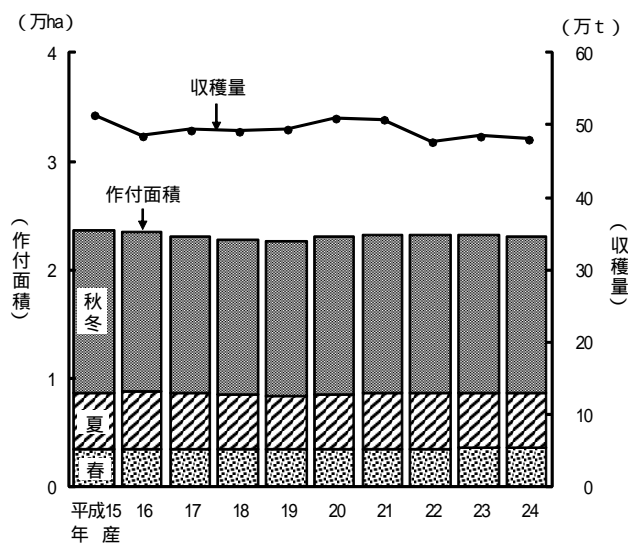


表10 平成24年産ねぎの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
ねぎ	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
春	23,000	2,090	480,900	382,800	100	100	99	100	97
夏	3,420	2,460	84,200	73,700	100	99	99	100	98
秋冬	5,080	1,820	92,600	80,000	99	102	101	101	96
	14,500	2,100	304,000	229,100	99	100	99	99	97

(10) たまねぎ

ア 作付面積

作付面積は2万4,900haで、前年産に比べて300ha(1%)増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,410kgで、前年産に比べて60kg(1%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は109万8,000tで、前年産に比べて2万8,000t(3%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は96万8,700tで、前年産に比べて2万6,600t(3%)増加した。

図11 たまねぎの作付面積及び収穫量の推移

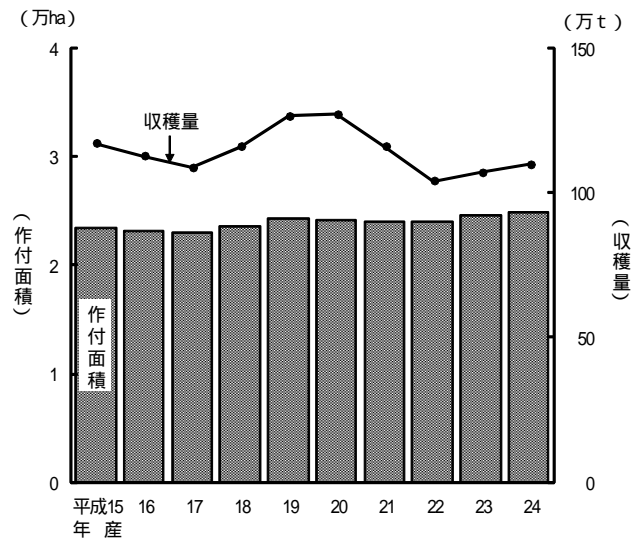


表11 平成24年産たまねぎの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
たまねぎ	24,900	4,410	1,098,000	968,700	101	101	103	103	92

(11) きゅうり

ア 作付面積

作付面積は1万1,600haで、前年産に比べて100ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は5,060kgで、前年産に比べて60kg(1%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は58万6,600tで、前年産並みとなった。

エ 出荷量

出荷量は49万5,100tで、前年産並みとなった。

オ 季節区別の概況

(ア) 冬春きゅうり

作付面積は3,040haで、前年産に比べて40ha(1%)減少した。

10a当たり収量は9,850kgで、前年産に比べて150kg(1%)下回った。

収穫量は29万9,400t、出荷量は27万8,400tで、前年産に比べてそれぞれ8,800t(3%)、7,100t(2%)減少した。

(イ) 夏秋きゅうり

作付面積は8,600haで、前年産に比べて50ha(1%)減少した。

10a当たり収量は3,340kgで、前年産に比べて140kg(4%)上回った。

収穫量は28万7,200t、出荷量は21万6,600tで、前年産に比べてそれぞれ1万800t(4%)、9,400t(5%)増加した。

図12 きゅうりの作付面積及び収穫量の推移

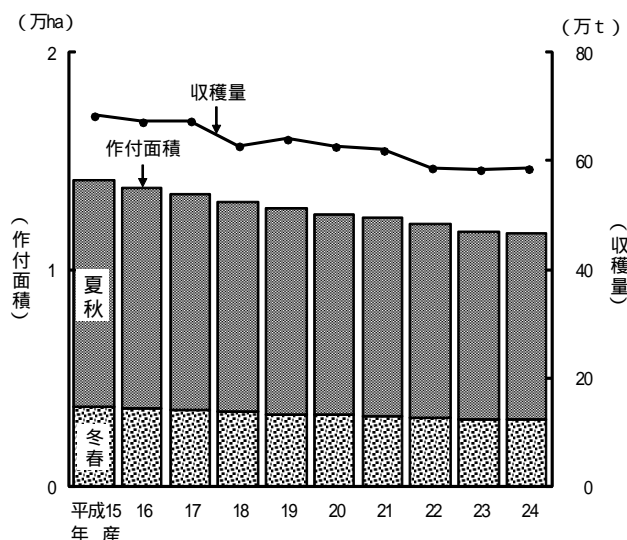


表12 平成24年産きゅうりの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
きゅうり	11,600	5,060	586,600	495,100	99	101	100	100	101
冬春	3,040	9,850	299,400	278,400	99	99	97	98	99
夏秋	8,600	3,340	287,200	216,600	99	104	104	105	104

(12) なす

ア 作付面積

作付面積は9,860haで、前年産に比べて140ha(1%)減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は3,320kgで、前年産に比べて100kg(3%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は32万7,400tで、前年産に比べて5,000t(2%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は24万6,700tで、前年産に比べて3,300t(1%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春なす

作付面積は1,160haで、前年産に比べて40ha(3%)減少した。これは、他の野菜への転換、燃油価格の高騰の影響等による。

10a当たり収量は9,820kgで、前年産に比べて100kg(1%)下回った。

収穫量は11万3,900t、出荷量は10万7,600tで、前年産に比べてそれぞれ5,100t(4%)、4,600t(4%)減少した。

(イ) 夏秋なす

作付面積は8,700haで、前年産に比べて100ha(1%)減少した。

10a当たり収量は2,450kgで、前年産に比べて140kg(6%)上回った。これは、7月以降の果実肥大・成熟期において天候に恵まれたこと等による。

収穫量は21万3,500t、出荷量は13万9,100tで、前年産に比べてそれぞれ1万100t(5%)、8,000t(6%)増加した。

図13 なすの作付面積及び収穫量の推移

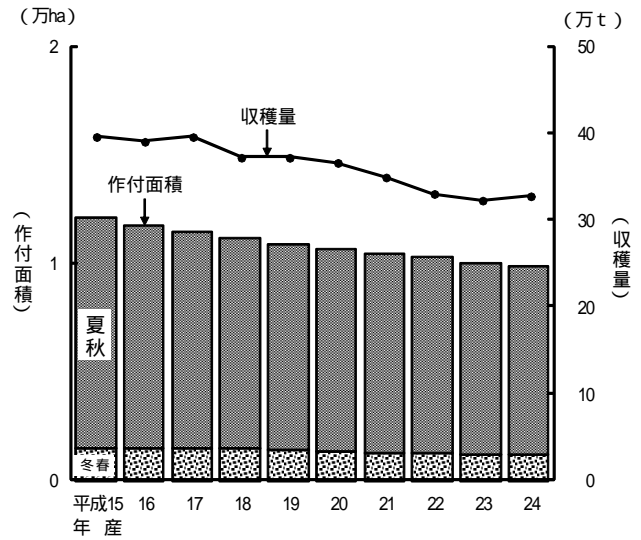


表13 平成24年産なすの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
なす	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
冬春	1,160	9,820	113,900	107,600	97	99	96	96	96
夏秋	8,700	2,450	213,500	139,100	99	106	105	106	102

(13) トマト

ア 作付面積

作付面積は1万2,000haで、前年産並みとなった。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は6,020kgで、前年産に比べて160kg(3%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は72万2,400tで、前年産に比べて1万9,300t(3%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は64万4,500tで、前年産に比べて1万8,600t(3%)増加した。

オ 季節区別の概況

(ア) 冬春トマト

作付面積は3,920haで、前年産に比べて30ha(1%)減少した。

10a当たり収量は9,430kgで、前年産に比べて180kg(2%)下回った。

収穫量は36万9,800t、出荷量は34万9,500tで、前年産に比べてそれぞれ9,700t(3%)、8,200t(2%)減少した。

(イ) 夏秋トマト

作付面積は8,100haで、前年産並みとなった。

10a当たり収量は4,350kgで、前年産に比べて350kg(9%)上回った。これは、7月以降の果実肥大・成熟期において天候に恵まれたこと等による。

収穫量は35万2,600t、出荷量は29万4,900tで、前年産に比べてそれぞれ2万9,000t(9%)、2万6,700t(10%)増加した。

図14 トマトの作付面積及び収穫量の推移

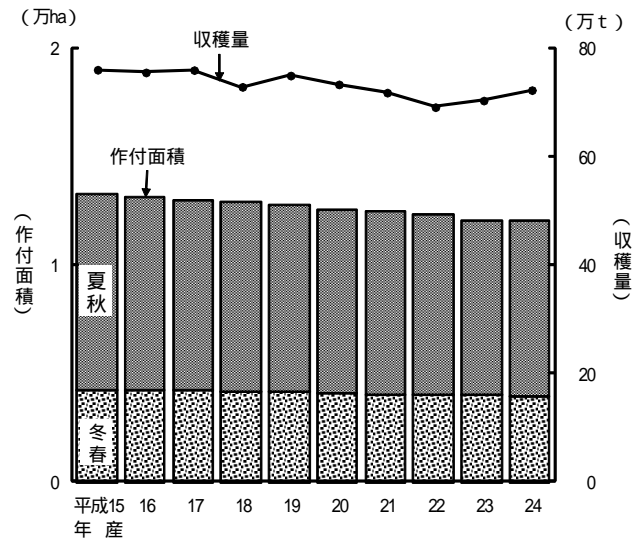


表14 平成24年産トマトの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
トマト	12,000	6,020	722,400	644,500	100	103	103	103	103
冬春	3,920	9,430	369,800	349,500	99	98	97	98	101
夏秋	8,100	4,350	352,600	294,900	100	109	109	110	106

(14) ピーマン

ア 作付面積

作付面積は3,420haで、前年産に比べて20ha(1%)増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は4,240kgで、前年産に比べて70kg(2%)上回った。

ウ 収穫量

収穫量は14万5,000tで、前年産に比べて3,200t(2%)増加した。

エ 出荷量

出荷量は12万5,400tで、前年産に比べて3,000t(2%)増加した。

オ 季節区分別の概況

(ア) 冬春ピーマン

作付面積は748haで、前年産に比べて12ha(2%)減少した。

10a当たり収量は9,800kgで、前年産に比べて50kg(1%)上回った。

収穫量は7万3,300t、出荷量は6万8,900tで、前年産に比べてそれぞれ800t(1%)、700t(1%)減少した。

(イ) 夏秋ピーマン

作付面積は2,670haで、前年産に比べて30ha(1%)増加した。

10a当たり収量は2,690kgで、前年産に比べて130kg(5%)上回った。これは、7月以降の果実肥大・成熟期において天候に恵まれたこと等による。

収穫量は7万1,700t、出荷量は5万6,400tで、前年産に比べてそれぞれ4,000t(6%)、3,600t(7%)増加した。

図15 ピーマンの作付面積及び収穫量の推移

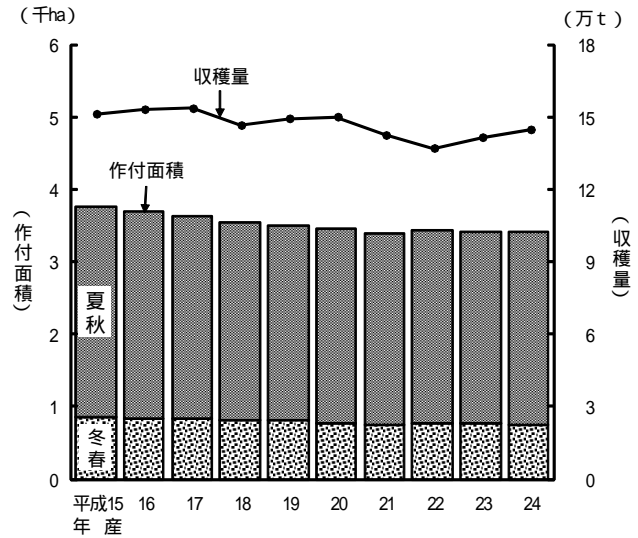


表15 平成24年産ピーマンの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考)対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
ピーマン	3,420	4,240	145,000	125,400	101	102	102	102	101
冬春	748	9,800	73,300	68,900	98	101	99	99	102
夏秋	2,670	2,690	71,700	56,400	101	105	106	107	102